

平成22年9月24日  
国土交通省河川局

## 平成22年度「かわまちづくり」計画の登録について

国土交通省は、「かわまちづくり」支援制度に係る計画について登録を行います。

国土交通省河川局では、地域の景観、歴史、文化等を活かし、地方公共団体や地域住民との連携の下で、河川空間とまち空間の融合が図られた良好な河川空間形成を目指す取組である「かわまちづくり」を、治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備等を通じて支援する「かわまちづくり」支援制度を平成21年度から運用しています。

この度、「かわまちづくり」支援制度に係る「かわまちづくり」計画について、平成22年度の第1回目の登録を行います。

平成22年9月24日付けで登録される「かわまちづくり」計画の概要については、別紙の通りです。

### 【問い合わせ先】

国土交通省河川局 03-5253-8111（代表）

河川環境課 企画専門官 吉田 邦伸（内線35-442）  
03-5253-8447（直通）

○「かわまちづくり」計画の登録箇所一覧（計11箇所）

都道府県名	市町村名	水系名	河川名	計画名称	計画の概要
北海道	北見市	ところがわ 常呂川	こいしかわ 小石川	きたみしとうぶ 北見市東部地区 かわまちづくり	北海道北見市東部地区では、現在、小石川において新水路の整備中であり沿川の住宅地や近接する公園整備が進んでいる。平成21年度より地元住民が主体となった「小石川を守る連絡協議会」が組織され河川管理者と連携して清掃活動が実施されるなど、年々河川への関心が高まりつつある。 常呂川水系小石川における北見市東部地区かわまちづくりでは、河川管理に必要な管理用通路、護岸、河道等の整備にあわせて、北見市が都市計画マスタープランに基づき、身近な潤い空間として小町川、小石川などの市街地内河川の河川緑地の整備・保全を行い、「かわ」と「まち」が一体となったまちづくりを実施していく。
福島県	本宮市	あぶくまがわ 阿武隈川	あぶくまがわ 阿武隈川	もとみや 本宮地区かわまちづくり	福島県本宮市本宮地区では、昭和61年・平成10年・平成14年と浸水被害を受け、堤防の改修工事を進めている。特に左岸築堤箇所は、市の中心市街地と隣接していることから「まちづくりとかわづくりが一体となった整備」が必要である。本宮市では河川改修事業と連携し、まちづくり交付金を活用した「街なか再生事業」を実施している。 阿武隈川水系阿武隈川における本宮地区かわまちづくりでは、この堤防の改修工事とあわせて「まちと川を結ぶ」ネットワークを形成し、まちの魅力向上や、川とまちの交流の場としての河川空間を創出するためのまちづくりを実施する。
山形県	庄内町	もがみがわ 最上川	もがみがわ 最上川 たちやざわかわ 立谷沢川	きよかわ 清川地区かわまちづくり	山形県庄内町清川地区には、最上川舟運によって往来した松尾芭蕉等文人墨客の足跡が残されており、庄内町では「かわみなと歴史の小道」散策ルートとして歴史資産を広く紹介する案内看板等や、最上川・立谷沢川合流点では親水広場等の整備を行っている。 最上川水系最上川及び立谷沢川における清川地区かわまちづくりでは、河川管理に必要な管理用通路等の整備を行い、史跡等の観光資源を結ぶ散策路として活用することで、歴史・文化が色濃く残る「まち」と「かわ」とが一体となったかわまちづくりを行う。
山形県	河北町	もがみがわ 最上川	もがみがわ 最上川	かほくちよう 河北町かわまちづくり	山形県河北町では、最上川を「水辺空間スポーツレクリエーションゾーン」として位置づけ、カヌーを中心に利活用されている。また、せせらぎ水路等のまちなかの親水空間や地域交流拠点などの施設を整備しており、イベント等に利用されている。今後、最上川の水辺空間と町の観光拠点を結び、「かわ」と「まち」が一体となったまちづくりを計画している。 最上川水系最上川における河北町かわまちづくりでは、町が実施している地域交流拠点施設やカヌー等を活かした観光拠点施設整備等の事業に合わせ、河川管理に必要な管理用通路や側帯等を整備し、散策路、桜つつみ等として活用することで、まちづくりと一体となった整備を行う。
静岡県	富士市	ふじかわ 富士川	ふじかわ 富士川	かりがねづつみ きじま 雁堤・木島地区かわ まちづくり	静岡県富士市雁堤・木島地区は、富士川を挟む形で左岸に雁堤地区、右岸に木島地区が位置する。雁堤地区には、その名のとおり歴史的治水施設である雁堤、また木島地区には伝統的な行事である投げ松明、また、近隣には道の駅富士川楽座も位置し、当該地区には魅力ある施設、行事が存在している。 富士川水系富士川における雁堤・木島地区かわまちづくりでは、その点在する魅力ある施設等を有する当該地区において、河川管理に必要な管理用通路や低水護岸の整備とあわせて富士市が構想する市の観光拠点としての【富士川ふれあいエリア】として発展させていくため、また、富士川にふれあえるアクセスを確保するためのまちづくりを行う。
埼玉県	草加市	とねがわ 利根川	あやせがわ 綾瀬川	そうかし 草加市かわまちづくり	埼玉県草加市は、江戸時代に政府公認の日光街道の宿場である草加宿がルーツであり、綾瀬川等の舟運の河岸として産業を通じて栄え、コミュニティが形成された。草加市では国の地域再生計画の認定に基づく支援を受けながら、かつて宿場のあった旧町地区から草加のシンボルでもある草加松原に至るルート为本市の都市再生軸として、歴史や文化を活かした個性と活気あふれる草加のシンボルゾーンとして再生し、地域活性化を図っている。 利根川水系綾瀬川における草加市かわまちづくりでは、第三次草加市総合振興計画のシンボル・プロジェクトとして位置づけられている水と緑を育む「水と緑の回廊」プロジェクト、心地よい風景をつくる「草加松原・綾瀬川左岸」プロジェクトに基づき、中心市街地の貴重な都市空間、市民文化交流ゾーンにふさわしい拠点、さらには防災活動拠点としての都市公園整備に併せ水辺環境の整備を行い、まちと一体となった整備を行う。

○「かわまちづくり」計画の登録箇所一覧（計11箇所）

都道府県名	市町村名	水系名	河川名	計画名称	計画の概要
新潟県	糸魚川市	ひめかわ 姫川	ひめかわ 姫川	てらしま 寺島地区かわまち づくり	新潟県糸魚川市は、平成21年8月に国内初となる世界ジオパークとして認定を受けた「糸魚川ジオパーク」を世界的なブランドとして、豊富な自然資源や文化的資源をさらに活用することで地域の総合的な誘客力を高めるため、ジオパーク内の地質上特色のある24のエリアをジオサイトと位置づけ、周辺整備等を行っている。 姫川水系姫川における寺島地区かわまちづくりでは、ジオサイトの一つとして位置づけられている姫川において、ジオパークの情報発信拠点となるフォッサマグナミュージアムや姫川周辺のジオサイト等と連携し、姫川流域で産出される石の標本展示や全国屈指の急流河川姫川での水防工法の紹介など、自然・防災の学習の場及び交流人口の拡大・地域活性化の拠点としての整備を行う。
新潟県	見附市 三条市	しなのがわ 信濃川	かりやたがわ 刈谷田川	かりやたがわ 刈谷田川かわまち づくり	新潟県見附市、三条市では、生活、農業、産業、かつての舟運等、古くから川と人々の暮らしが直接的に結びついていた。現在では、散歩等で日常的に利用されるほか、毎年6月に長岡市中之島地区と見附市今町地区の河川堤防で「大風合戦」が開催され、地元及び周辺地域の人々が集う一大イベントとなっている。一方、平成16年7月の洪水被害に代表されるように、これまで見附市は繰り返し甚大な被害を受け、水害との戦いが続いた歴史がある。三条市における刈谷田川区間を含めて、災害復旧事業による河川改修事業により、安全・安心度が向上してきていることから、刈谷田川の有効活用が期待されている。 信濃川水系刈谷田川における刈谷田川かわまちづくりでは、防災拠点、交流・物産拠点、堤防天端道路、河川空間等を有効利用し、水防や歴史の学習、地域交流プログラム作成、川の駅ネットワーク構築などにより、安全安心なまちづくり、人が交流するまちづくりを行う。また、地域住民が主体的に刈谷田川を利用できる仕組みを目指す。
岐阜県	美濃加茂市	きそがわ 木曾川	きそがわ 木曾川	みのかも 美濃加茂地区かわま ちづくり	岐阜県美濃加茂市美濃加茂地区では、木曾川が「飛騨木曾川国定公園」に指定され、美濃太田（美濃加茂市）から犬山に至る「日本ライン」は、急流で断崖や奇岩がくりなす風光明媚な河川環境を呈している。本地区では、これまでに水辺の楽校（化石林公園）等が整備され、地元団体によるイベント開催、定期的な清掃活動等、地域のふれあいの場として親しまれている。 木曾川水系木曾川における美濃加茂地区かわまちづくりでは、河川管理に必要な低水護岸、高水敷整正等の整備にあわせ、「美濃加茂市都市計画マスタープラン」「美濃加茂市第5次総合計画」等に基づき、美濃加茂市により進められている都市拠点としての美濃加茂駅前から交流拠点として旧中山道太田宿地区と親水拠点地区（木曾川河岸）の整備を行い、地域資源を活かしたまちづくりを進めていく。
広島県	三次市	ごうかわ 江の川	ごうかわ 江の川 馬洗川 さいじょうかわ 西城川	みよしさんせんごうりゅうぶ 三次市三川合流部か わまちづくり	広島県三次市は、市内中心部で江の川、馬洗川、西城川の三川が巴状に合流し、「巴峡（はきょう）」と呼ばれ古くから山陰と山陽を結ぶ交易の地として繁栄してきた。現在も約430年続く鶴飼いをはじめ、桜の名所や花火大会などの観光や地域住民の散策など活発な利用が行われている。 江の川水系江の川、馬洗川、西城川における三次市三川合流部かわまちづくりでは、河川管理に必要な護岸、河川管理用通路の整備にあわせ、三次市、地域住民、関係団体が連携し策定した、三次市三川合流部周辺河川環境整備計画に基づいて行う街路灯整備や三次市総合計画に基づいて三次市が行う街なみ整備などを行い、「かわ」と「まち」が一体となったまちづくりを進めていく。
徳島県	三好市 美馬市 つるぎ町 東みよし町	よしのがわ 吉野川	よしのがわ 吉野川	しほ 芝生地区かわまち づくり	徳島県三好市、美馬市、つるぎ町、東みよし町は、平成20年10月に「にし阿波観光圏」に認定され、周遊コースや滞在型メニューの創出等、観光旅客等の来訪・滞在の促進事業を行っている。その中で、吉野川沿川では「美濃田の渚」や「美馬市水辺の楽校」等の周辺施設をカヌーなどで連絡できる「川のネットワーク」を構築し、各施設を繋げ一連化することで、利用者の増加が期待される。 吉野川水系吉野川における芝生地区かわまちづくりでは、交通便が良く、「川のネットワーク」のほぼ中央に位置し、周辺にオートキャンプ場等の滞在型施設が存在する芝生地区において、「川のネットワーク」の重要拠点としての整備等を行うことで、地域の発展を目指す。

# 「かわまちづくり」支援制度の概要

観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された、実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

## ソフト面

- ・ 民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度(河川敷地占用許可準則の特例措置)等を拡充
- ・ 河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援

## ハード面

- ・ 治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援

河川を核とした地域活性化(最上川)

【河川管理者の取組み】

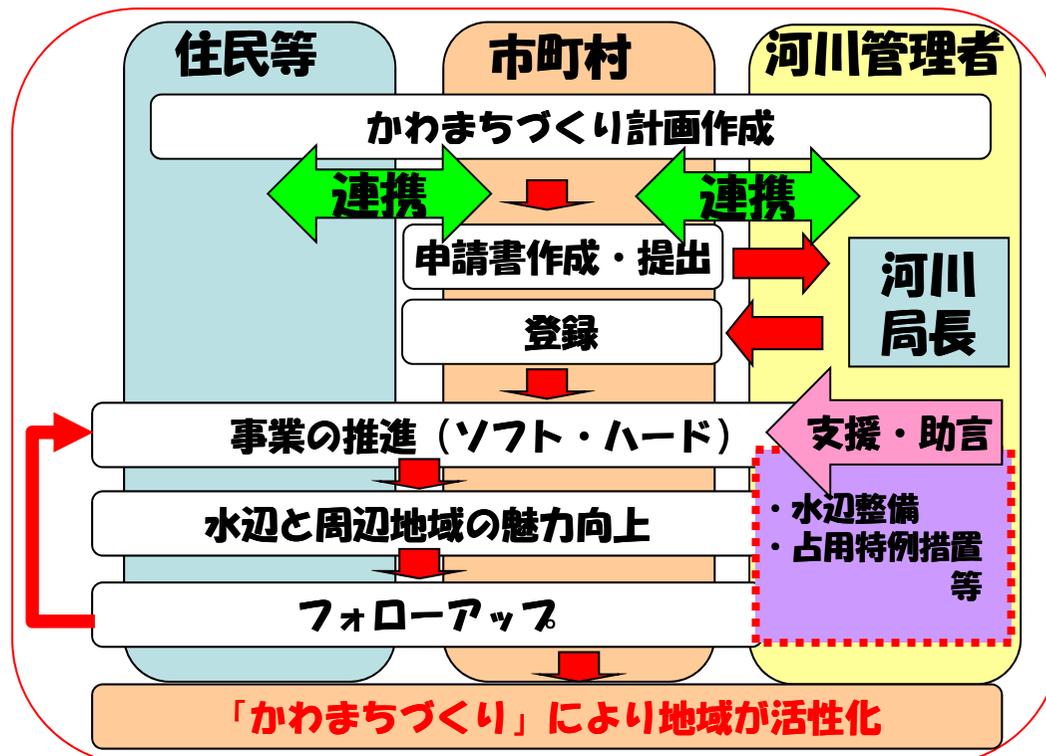
【地域の取組み】



管理用通路の整備(フットパスにも活用)



観光ボランティアガイド



- ①地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
- ②利活用方策が地域において明確となっているものを対象
- ③施設の維持管理に地域の協力が得られるものを対象